



進路だより

札幌市立宮の森中学校

令和6（2024）年度

第33号

10月30日（水）

進路係発行

保護者のみなさん、生徒のみなさん、共に読んでください

学校説明会等のお知らせ

札幌日本大学高等学校（私立・A日程）

学校説明会：11月9日（土）9:00～（受付8:30～、終了時間は内容によって変わります）

内容：全体説明、校内見学、模擬授業、IB特別説明会、個別相談など

申込方法：全員に配布されたチラシを参照して、各自で申し込んでください。オンラインで参加も可能です。プレテストも同日に実施されます。

・ クラーク記念国際高等学校のリーフレットを全員に配布しました。学校説明会やオープンスクールの案内も載っているので、希望者は各自で申し込んでください。

・ 以前に案内した道立高校WEB申請のシミュレーションが、11月7日（木）までの期間に再度できるようになりました。道立高校を受検予定の人で前回シミュレーションをしていない人は、この機会の是非取り組んでみてください。北海道教育委員会のHPから申請フォームに入ることができます。出願手続きマニュアルは学力向上推進課のWEBページに掲載しています。

「努力の壺（つぼ）」という話 （どこかで聞きたい話）

「お母さん、努力の壺の話、またして」「うん、いいよ。今度はなあに」「さかあがり」「あらまだいっぱいになっていなかったのね。ずいぶん大きいねえ」

といいながら、お母さんはいすを引いて、私の前に座りました。そして、もう何回もしてくれた、努力の壺の話を、またゆっくりと始めました。それはこんな話です。

『人が何かを始めようと、今まででできなかったことをやろうと思ったとき、神様から努力の壺をもらいます。その壺はいろんな大きさがあって、人によって、時には大きいやら小さいやらいろいろあります。そしてその壺は、その人の目には見えないのです。でも、その人が壺の中に一生懸命【努力】を入れていくと、それが少しずつたまって、いつか【努力】が溢れるとき、壺の大きさが分かる、というのです。だから、休まずに壺の中に【努力】を入れていけば、いつか必ずできる時が来るのです。』

私はこの話が大好きです。幼稚園の時初めてお母さんから聞きました。その時は、よこばしご（うんてい）の練習をしている時でした。それから、一輪車や鉄棒の前回り、跳び箱、竹馬。何でもがんばってやっている時、お母さんに頼んでこの話をしてもらいます。くじけそうになった時でも、この話を聞いていると、心の中に大きな壺が見えてくる気がします。そして、私の【努力】がもう少しで溢れるように見えるのです。だから、またがんばる気持ちになれます。

お母さんの言うとおり、今度の逆上がりの壺は、ずいぶん大きいみたいです。逆上がりを始めてから、もう2回もこの話をしてもらいました。でも、今度こそあと少しで溢れそうな気がします。だから、明日からまたがんばろうと思います。

お母さんは、「壺が大きいととても大変だけど、中身がいっぱいあるからあなたのためになるのよ」と言ってくれるけど、今度は神様にもらうときは、もう少し小さな壺がいいなあと思います。

「タイパが大事」などと言われるご時世ですが、何かを身につけるには必ず努力が必要であり、その努力には時間がかかるものです。その場しのぎの学力ではなく、ずっと先まで活かせるような本物の学力を身につけてほしいと願います。